

外国人留学生の就職促進について(外国人留学生の就職に関する課題等)

**文部科学省高等教育局学生・留学生課 課長補佐 丸岡 充**

ただ今、紹介いただきました文部科学省、学生・留学生課の課長補佐をしております丸岡と申します。本日はよろしくお願いたします。私からは外国人留学生の就職促進について説明をしたいと思います。

始めに、外国人留学生の就職支援に関する政府全体の方針ということで、閣議決定をいくつか並べております。この中段にあります「日本再興戦略改訂 2016」ですが、平成 28 年 6 月に閣議決定されたものです。外国人留学生の日本国内での就職率を現状の 3 割から 5 割に向上させることを目指す、そのために留学生に対する日本語教育、中長期のインターンシップ、キャリア教育などを含めた特別プログラムを、各大学が設置するための推進方策を速やかに策定する。下の行になりますが、そのプログラムを各大学が策定することを支援するというようなことがいわれています。

その上ですが、こちらは昨年 6 月閣議決定の「未来投資戦略 2017」です。外国人留学生の就職率を向上させるために、日本語教育、キャリア教育、中長期インターンシップ等を含む、留学生就職促進プログラムを 12 大学において実施するということがいわれています。わが国の大学への留学生の受け入れの意義としまして、従前より、大学の国際化を進めることや、留学生が帰国してわが国とその国の架け橋になるということが期待されていたところですが、最近のグローバル競争の激化や人手不足の急激な進行というところから、外国人材に注目が集まっており、その一環として、高度人材の卵としての留学生を取り込んでいこうという方針が打ち出されているところです。

次のスライドは実態です。はじめに法務省入国管理局の調査ですが、企業への就職を目的とした在留資格変更許可申請に対して、処分した件数が増加傾向にあります。その下に円グラフがありますが、変更後の在留資格別としては、技術・人文知識・国際業務が圧倒的に多いという状況になっています。

次のスライドは JASSO で行われた調査で、留学生の就職の状況です。大学や大学院を卒業した外国人留学生数は増加しており、国内に就職した数も一応増加傾向にあります。割合としては、28 年度ですと、36 パーセントにとどまるという状況です。先ほど申したように、目標としては就職率を 3 割から 5 割へ上げたいということが閣議決定されています。一方で、JASSO の調査によると、外国人留学生のうち、日本国内に就職を希望する方が約 64 パーセントいるということです。希望者は 64 パーセントいますが、実際に就職しているのは 36 パーセントであるということで、どのように就職率を上げていけばよいかを考えないといけない、というところかと思えます。

次のスライドは外国人留学生の就職に関する課題について、いろいろアンケートをまと

めたものです。上は留学生対象の調査ですが、例えば上から、留学生向けの求人が少ないということ、あるいは、就職活動の仕組みが分からない、日本語による適性試験や能力試験が難しいというような課題が挙げられています。下のグラフには、企業として、留学生に対して改善してほしい点が挙げられています。その中で、日本語能力が不十分ということ、日本企業における働き方の理解が不十分であるというようなことが言われております。企業側がどれぐらい外国人材を採ろうとしているか、あるいは外国人材に何を期待して採ろうとしているか次第で、この辺の要望が変わってくるかと思いますが、留学生にもそれなりの日本語能力が求められるということ、これは口頭によるコミュニケーションだけではなくて文書作成能力ということがあるかもしれませんが、そういったことが求められるということです。それから、留学生が日本企業の採用の方法に対応できるのか、日本人学生と一緒に面接審査を受けたり、あるいは適性検査を受けたりするときに留学生が本来の力を発揮できるのかというような問題もあるかと思えます。

このような状況の中で、大学としてどのような取組ができるかということ考えたものが、次のスライドの留学生就職促進プログラムです。冒頭申し上げた閣議決定でも出てきました、文部科学省の予算事業です。先ほど申し上げたような課題がスライドの一番上に書かれております。就職の課題として、企業において改善をはかるべき点がある一方で、大学においても取り組めることがあるだろうということで、日本語能力や日本企業の採用慣行、働き方についての理解を高めるために、プログラムを組んでいただくというものです。具体的には大学と地方公共団体、経済団体でコンソーシアムを組んでいただいて、教育プログラムを実施していただく。その中でビジネス日本語、キャリア教育、インターンシップ等々についてプログラムを作って、留学生にこのプログラムを受けてもらう。このプログラムを修了し、中小企業等を始めとした国内の企業に就職していただきたいといった取組を今、行っております。

現在、12 の取組について支援を行っているところです。この取組は昨年度から開始しており、5年間行う予定です。来年度は中間評価を行う予定で、この成果についてもまた発信をしていきたいと考えています。留学生の国内の就職にあたって、学内の体制ややり方の整備、あるいは産業界とのコミュニケーションといったようなところで、それぞれの大学において取り組めることがあるかと思えます。各大学において、その体制づくりややり方の工夫といった取組を進めていただくことを期待したいと思います。